

単元名 学びの言葉松任谷由実(オリエンテーション)

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 発想や構想の手立てとして、身近なものを見つめ直し、独自の視点で再構築していくことが大切であると理解することができる。
(3) 生活の中で気になる物事を考え組み合わせて、独自の発想を見つけようとする。

標準的な展開例

10270204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身近にある些細なことから発想や構想のヒントを見つけ出し、まとめる方法を考える。</p> <p>★アイデアを練る練習をしよう。</p> <p>○学びの言葉を読み、イメージを具現化する手立てを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣の席の生徒同士で、意見交換し方法を模索する。 <p>○発想・構想の手立てを参考にして、アイデアを練ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビングマップの制作 ・アイデアを練る 	<ul style="list-style-type: none"> ・大枠のテーマ設定を教師側で提示してから考えさせる。 <p>【評】生活の中で気になる物事を考え組み合わせて、独自の発想を見つけようとする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 58. 59の行程を参考にする。 ・ウェビングマップで出てきた内容で気になるものをいくつかマークさせ、それらの融合を試みさせる。 <p>【評】発想や構想の手立てとして、身近なものを見つめ直し、独自の視点で再構築していく活動を通して「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】

アイデアを練る際に、何から考えてよいか分からずつまずく生徒がいる。本単元では、アイデアの種をどのように生み出すかを考えていく時間としたい。
教科書P. 58. 59参照